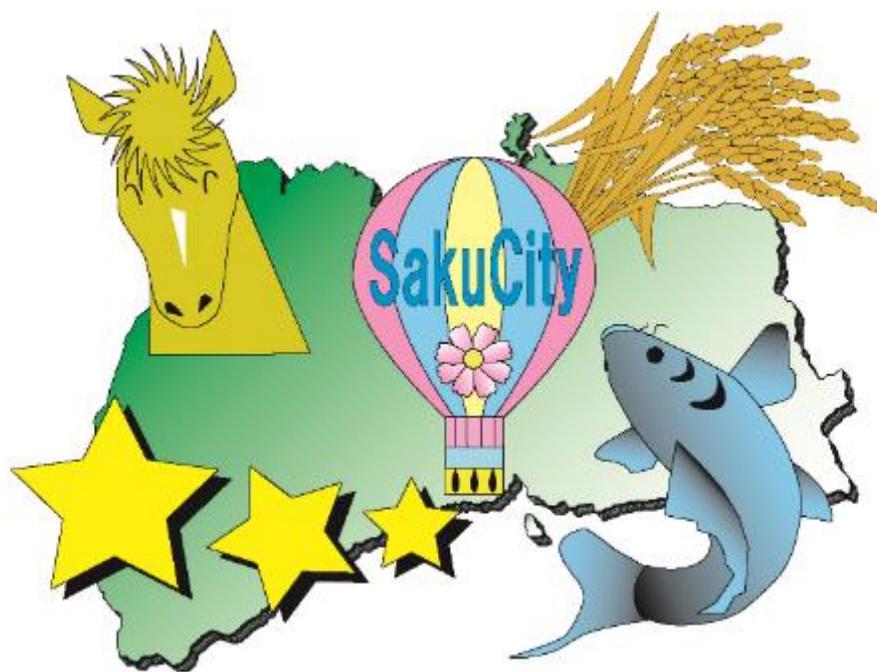


# 令和2年度 議会報告



佐久市議会

## 目 次

### 各委員会報告事項

- 1 総務文教委員会 . . . . . 1
- 2 経済建設委員会 . . . . . 2
- 3 社会委員会 . . . . . 3
- 4 予算委員会 . . . . . 4
- 5 議会運営委員会 . . . . . 5
- 6 決算特別委員会 . . . . . 6
- 7 総合交通対策特別委員会 . . . . . 7
- 8 議会活性化特別委員会 . . . . . 8
- 9 広報広聴特別委員会 . . . . . 9

# 委員会報告事項

## 1 総務文教委員会

### 前回の意見交換会からの主な事項

#### ●令和元年東日本台風（台風19号）災害

台風により被災した施設等の現地調査を行い、被害状況の確認をし、早期の復旧を指示いたしました。

特に、佐久市コスモホールにつきましては、今回の台風の被害により全館を長期休館することになり、文化振興に大きな損失となり、市民の皆さんに多大なご不便をおかけする事態となってしまいました。

今後、このような被災を受けることがないように、施設周辺整備を含めて改良による復旧に努めることを求める附帯決議を付しました。

#### ●佐久ケーブルテレビのFTTH化（光ケーブル化）

令和2年第1回臨時会が1月31日に開催され、光ケーブル施設整備事業等について審査をし、佐久ケーブルテレビ株式会社に対する多額の出資の執行に当たっては、市民の理解が得られるよう、健全経営に向けて市も努力されたいのはもちろん、将来の佐久市の市民福祉向上に最大限資することを求める附帯決議を付しました。

#### ●新型コロナウイルス感染症

学校現場の確認として、小中学校のエアコンの運用方針、運動会、修学旅行の計画、スクールバスの対応などを確認し、今後、第2波・第3波により、再度、学校等が休校になった場合の対応として今年度購入予定のタブレットを利用したオンライン授業についてなど確認しました。

この他に、佐久市特別定額給付金については、12月31日生まれまでの子どもに対し給付することについて、より公平性が保てるように意見しました。



浸水したコスモホール被災状況の確認

### 「調査・研究が必要なもの」とした事項に関する委員会での対応状況

#### ●屋外の防災無線

議会としても、以前から改善するように要望しておりましたが、「佐久市防災行政無線同報系設備デジタル化等整備事業」により、屋外スピーカーが増設され、以前より聞きやすくなりました。

また、6月より防災行政無線の内容が電話で確認できるサービス「防災無線テレホンサービス」が開始されるようになりました。フリーダイヤル 0120-71-1120

さらに、今年度において、スマートフォン等を利用した行政サービスの提供や防災システムの構築を進めております。

#### ●地域のコミュニティー

先進地の視察として、長崎県長崎市の「地域コミュニティーに関する取り組み」について、調査してまいりました。長崎市においては、自治会・老人クラブ・PTAなど、様々な団体で構成し、地域コミュニティー連絡協議会として活動している。

佐久市においても、地域の力を集める組織として、このような仕組み作りなど検討していく必要があると考えます。

#### ●台風など災害対応

自然災害など大規模災害等、緊急事態が発生した際、迅速で適切な災害等の対応、議会機能の早期回復とその維持を図ることを目的として、佐久市議会業務継続計画を策定しました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染症による行動計画などについても、計画に盛り込んであります。

## 2 経済建設委員会

### 前回の意見交換会からの主な事項

#### ●令和元年東日本台風について

地元関係者立会いによる被災現場調査（土木関係、農業土木関係）及び下水道管理センター及び塩名田水管橋の現地調査を行いました。復旧に当たっては、被災者の気持ちに寄り添った対応を行うよう、また、台風による河川堆積土砂の早期撤去について、要請をしました。

復旧状況は、令和2年8月末時点で、道路・河川・橋梁関係は約8割、農地・農業用施設・林業用施設は約6割程度、下水道管理センターは9月中旬で、水処理をする最終沈殿池の機能が回復し、8割ほど処理ができる状況であることを確認しました。



令和元年11月8日  
仮復旧された谷川（入澤区）の現地確認



令和2年9月15日  
谷川左岸に築造予定の新設道路位置の確認

#### ●「佐久市内の料飲・宿泊業者への、佐久市独自の助成金交付等に関する請願」について

料飲・ホテル旅館組合から、市独自の助成金交付等を求める請願が提出されました。新型コロナウイルスの終息が不透明な中、早急な対応が必要な案件として令和2年5月に開かれた臨時会に付議事件として追加し、当委員会において請願者から直接趣旨説明をお聞きした上で審査し、全会一致で採択しました。

#### ●佐久平駅南土地地区画整理事業について

令和2年6月に造成工事の起工式が行われ、概ね2か年で工事を完了する予定とのこと。また、一部無電柱化をはかるために電線共同溝の整備を実施するが、幹線道路築造工事と合わせて施工するため、通常よりも安い金額で施工できることを確認しました。

#### ●気候非常事態宣言を行うことに関する決議について

令和元年東日本台風災害から1年を迎えるに当たり、気候非常事態宣言を本市議会とともにを行い、市に対して異常気象に対する更なる対策を講ずるよう求める内容の決議案を当委員会として、令和2年9月定例会に提出し、全会一致により可決しました。

これを受けて、10月12日に市長と議長の連名により気候非常事態宣言を行いました。本市の快適な環境を保全し、未来の世代に継承するため、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、その実現に向けた取り組みを推進していきます。



### 「調査・研究が必要なもの」とした事項に関する委員会での対応状況

#### ●ごみの減量化について

委員会の主要テーマとして取り組んでまいりました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、先進地視察等による研究は中止となりましたが、委員会内協議や所管課との意見交換を行うなど、調査研究を進めてまいりました。特に生ごみの減量化は市民一人ひとりの意識により大きく貢献するものと考え、当委員会として市、市民、業者に向けた発信を検討しています。

### 3 社会委員会

#### R1.12月～R2.9月までの取り組み

##### ●議案審査について

令和元年東日本台風後の災害弔慰金等の審査会の新設、新型コロナ関連の傷病手当金に係る条例改正などの審査や、台風後の復旧状況や、コロナ禍への対応状況について意見を交換し、課題や今後の方向性等について議論を重ねました。

##### ●自殺対策リーフレットについて

自殺対策に関する議会の取り組みとして、コロナ禍で悩みを抱えることが多いと予想される中、議員が日頃行っている市民相談の際の心がけや相談窓口について、リーフレットを作成し、全議員へ配布しました。



##### ●栃木県日光市視察について

令和2年1月に、障害者支援の先進地である日光市を訪問しました。議会から提案を受けた翌年には点字メニュー等の作成に係る費用助成制度が開始されたり、市内の全小学校で手話講座を実施したり、迅速な対応がされていることなど、多くのことを学び、視察内容を当市の所管課にも情報提供し、意見交換を実施しました。



##### ●保育園保護者との意見交換について

市内の民間保育園の保護者の皆さまと意見交換を実施しました。「幼保無償化は家計が助かる」「歩道整備など、安全に配慮してもらいたい」など、子育て中のパパママから、率直なご意見をいただきました。



#### 重点取り組み事項

##### ●障がい児対応の環境整備について

保育園など、障がい児が安心して通える環境整備について、実情を把握し、現場の状況や利用者のニーズに応じた対応方法等を、引き続き検討してまいります。

##### ●高齢者対策について

令和2年1月に、高齢者施策の先進地である福島県いわき市と佐久市が都市連携協定を締結したことから、両市間の研修・調査の進捗を注視し、先進事例に学んでいきます。

##### ●手話言語条例制定後の取り組みについて

平成29年12月に議会提案により制定され、平成30年度に施行された手話言語条例について、昨年度、市ではリーフレットを作成し、全戸配布されました。社会委員会では、台風やコロナの影響により、二年連続で行政視察が中止となり、先進地調査ができない現状ですが、更に学校や公民館などと連携が必要なため、先進地に学び、引き続き誰もが安心して暮らせる佐久市を目指して取り組みます。

## 4 予算委員会

### ●佐久市議会では初となる予算常任委員会を設置

これまで予算案については、総務文教常任委員会、経済建設常任委員会、社会常任委員会の各委員会で所管事項をそれぞれ審査していましたが、議案の分割付託については、議会の「議案一体の原則」「議案不可分の原則」により、「議案は一体不可分のもので、これを分割して扱うことはできない」とされていることから、佐久市議会においても予算常任委員会を設置しました。

佐久市議会では、議長を除く全議員で構成し予算案の審査を行う予算委員会を新たに設置して、令和2年3月定例会から活動がスタートしました。

この委員会の設置により、議会のチェック機能は、一段と高まることとなります。

なお、予算案の審査方法として、専門性を活かしてより詳細な審査を行うため、予算委員会の中に総務文教・経済建設・社会の3つの分科会を設置し審議を行っています。

### ●令和2年3月定例会

令和2年度の一般会計当初・補正予算と11の特別会計当初予算の予算案13件を原案可決しました。

令和元年度の一般会計補正予算と9特別会計補正予算の予算案13件につきましても、原案可決しました。

なお、令和2年度の当初予算案は、一般会計と11ある特別会計あわせて総額約840億円という予算規模でした。

また、令和元年度と令和2年度の一般会計の補正予算案は、台風災害や新型コロナ関連の予算が主な内容でした。



本会議における予算委員長報告

### ●令和2年6月定例会

補正予算が組まれて一般会計予算の総額は約659億円となりましたが、今回の補正内容は、議会からの提言も受け編成された新型コロナの感染予防や経済対策のほか、台風災害復旧や防災対策などが主な内容でした。

### ●令和2年9月定例会

市議会からの提言も受け編成された新型コロナ感染予防や経済対策のほかに、台風や豪雨災害からの復旧と防災対策、また地区要望に基づく市道や河川の改良工事といった関連経費などの補正予算が生まれ、一般会計予算の総額は約684億円となりました。

特に、市独自の特別定額給付金事業については、市に対して、非対象者の不公平感の最小化に努めるよう求める附帯決議を付しました。

## 5 議会運営委員会

### R1. 12月～R2. 9月までの取り組み

#### ●台風災害、感染症対策に伴う質問日程等の変更について

令和元年12月定例会においては、台風災害への対応に配慮し、一般質問3日間を代表質問1日へ縮減しました。また、令和2年6月定例会においては、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、質問時間を短縮するなど、状況に応じて日程等を協議し、迅速、柔軟に変更しました。



議場に飛沫感染防止シールドを設置

#### ●予算委員会の設置について

予算審査についてより議論を深めるため、審査方法の在り方を検討してまいりましたが、令和2年3月定例会から、議長を除く全議員で構成する予算委員会を設置し、分科会方式による審査を実施しました。



本会議での予算委員長報告

#### ●決算特別委員会の検証について

令和元年9月定例会において、決算特別委員会の分科会方式を導入し、反省事項について協議・検討しました。その結果を受けて、令和2年9月定例会における委員会では、全体会で所管からの希望があった説明事項を追加するなど、新たな取り組みを行いました。

#### ●佐久市議会基本条例及び佐久市議会会議規則の一部改正について

令和2年6月定例会において、議会活動の活発化や災害対応に伴い、新たに会派代表会議や災害等対策連絡本部などの会議体を会議規則へ位置付けたほか、役割を終えた会議については削除し、新たな会議の位置付けに伴い、基本条例において、議会の会議は原則公開とすることを明記しました。



災害や課題に対応するための会議について明確に位置付け

## 6 決算特別委員会

### 令和元年度佐久市一般会計・各特別会計決算認定に関する委員会での審査状況

令和2年佐久市議会第3回定例会において、令和元年度の一般会計および特別会計合わせて12件の決算認定について、審査を行いました。

全委員による委員会では、現地調査、および事前通告、又は所管部局から選定された項目について、担当課から説明を受けることにより、審査を行いました。

また、常任委員会の専門性を活かした審査を行うため、総務文教分科会、経済建設分科会、社会分科会の3つの分科会により、詳細な審査を行いました。

審査結果は、決算認定議案、すべて、全会一致による原案認定でした。

#### ● 現地調査および所管部局からの説明聴取

現地調査は、子ども未来館、土づくりセンター、道路改良（中石堂～長者原）、ワークテラス佐久の4か所を調査しました。

続いて、各部局から「佐久ケーブルテレビ株式会社出資金」や「災害復旧費」など、34項目にわたる事業の実績や成果等の説明を受けた後、質疑を行いました。



リニューアルした子ども未来館

#### ● 委員会および総務文教・経済建設・社会分科会における主な意見等

##### ・令和元年度一般会計歳入歳出決算認定について

委員から「佐久ケーブルテレビの加入率が15パーセントと伸びていない状況報告に対し、所管部局からの説明と分科員の意見について」質問が出され、総務文教分科会長からは、「佐久ケーブルテレビ株式会社に対する出資に関わる補正予算に、附帯決議を付したことにより、所管部局から、各議会定例会毎に丁寧な報告を受けている。分科員からは、当然加入率アップへの努力を促すとともに、新築住宅への積極的な営業活動を要望しており、それに対して所管部局からは、そのように努力していると答弁があった。」との回答がありました。それを受けて、委員からは、「努力という言葉だけだと、全く前進しないので、これからも担当の総務文教分科会として、どうして上がらないのか、営業活動等の取組み内容を確認し、是非とも加入率が上がるように働き掛けをしていただきたい。」との要望が出されました。

女性委員登用の状況に関して、「女性委員の割合が高い審議会等はあるか。」という質疑に対し、「42の審議会等のうち、女性委員の比率が5割以上の審議会等は5つである。」との答弁があり、それに対して、社会分科員からは、「未だ女性委員がゼロの審議会等もあるが、一歩ずつ前進するように、引き続き取り組みをお願いしたい。」との意見が出されました。

##### ・令和元年度佐久市下水道事業特別会計の利益の処分及び決算認定について、

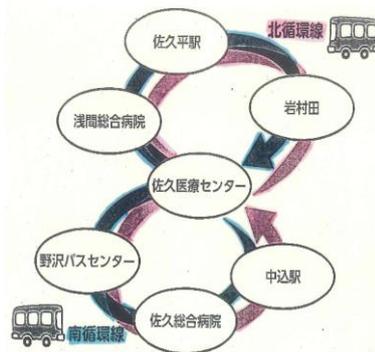
令和元年東日本台風による資産除却等の特別損失の計上があったものの、純利益が確保され健全経営であったことを確認したほか、管きよの更新について、「ストックマネジメント計画に基づいて、実施していく予定であること」を確認した上で、経済建設分科員からは、「管きよについては敷設してから約40年が経過し、耐用年数の50年に徐々に近づいている認識を持ち、計画的に対応してほしい。」との意見が出されました。

## 7 総合交通対策特別委員会

### 重点取り組み事項

#### ●公共交通の利便性向上について

平成30年12月に市長へ提出した提言書において、地域の実情に合わせたデマンドタクシーなどの交通体系を検討するための地域協議会の設置や、南北循環系統の一本化など、様々な提案を行いました。その後も委員による循環バス乗車調査や、運行事業者・ドライバーさんへの聞き取り調査を実施し、結果を所管部署へ報告する中で、改めて南北系統の統一などを提案しました。その結果、令和2年4月のダイヤ改正により、循環バス南北一体化が実現しました。また、地域協議会の設置に向けても取り組みが続けられていることから、委員会では、引き続き調査研究を重ね、提言に関するフォローも継続し、より良い交通体系の確立に向けて取り組みます。



循環バスの利便性が向上

#### ●中部横断自動車道の早期全線開通について

委員会では、毎回、中部横断自動車道の最新の進捗・利用状況を確認しています。昨年は4月に国土交通省、財務省、内閣府、関係国会議員のもとへ委員会として中央要望を実施したところですが、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、早期全線開通に向けて、今後も引き続き、沿線市町村とも連携を図り、要望を実施する等、早期全線開通に向けて取り組みます。



早期全線開通を目指して

#### ●松本佐久連絡道路について

令和2年3月25日、全議員の賛同のもと、佐久市議会松本・佐久連絡道路建設促進議員連盟が発足し、翌4月には、地元選出国會議員の井出庸生代議士へ早期実現に係る要望を提出しました。委員会としても、中部横断自動車道とともに、高速交通網の更なる発展を目指して取り組みます。



議員連盟と連携し取り組みます

## 8 議会活性化特別委員会

「議会活性化特別委員会」は、「議会や議員が何を行っているのかその活動が見えない」とのお声を多くの皆さんからいただいている実情に鑑み、私たちの活動をより「見える化」することを目的に発足しました。

多くの課題がある中で今期私たちが手がけてきたテーマは主として次の3点となります。

### ①議会手引書の作成

議会の役割や権限、会議の種類や活動の実際、議員の報酬、政務活動費の内容、請願や陳情等市民の皆さんの議会への働きかけの仕方、議員になる方法等をQ&A形式を交えてわかりやすく説明した全15ページの「手引書」を作成しました。

なお、この手引書につきましては、ホームページに掲載しており、議会事務局窓口でも配布しております。



### ②委員会活動の公開

委員会での議案審査は議会活動の中核を占める大事な活動です。もちろん傍聴はできますが、県内の多くの議会ではこの委員会審査の状況を中継や録画等によって公開しています。

当委員会では当市議会でも画像での公開をすべきであるとの方針を確認しました。ただ画像公開の仕方には技術的にいくつかの方法があるため、現在そのどれを採用すべきかについて検討を続けているところです。

### ③タブレット端末の導入

現在議会活動には膨大な紙資料が使われています。そしてその一部にでも差し替えの必要が生じた場合にはかなりの手間がかかってしまいます。こうした事情から多くの自治体では、ペーパーレス化の推進と省力化による議会運営の効率化を図るためにタブレット端末の導入を進めています。当委員会ではいくつかの先進自治体を訪れその実際と有用性を確認し、導入方針を決定しました。現在来年度の予算化に向けて手続き中です。



佐久市男女共生ネットワークの皆さんとの意見交換会



田原市議会 タブレット端末導入視察

## 9 広報広聴特別委員会

### 昨年度、委員会において調査研究が必要な事項

#### ●より親しみやすい『ギカイの窓』

昨年度より市民の方々に広報モニターとしてご意見をいただき、常に改善を重ねながらの広報誌作成に努めています。いただいたご意見の中から、印刷のフォントや文字の色などすぐに反映できるものは反映し、全面カラー化など予算などが必要なものは予算要求してまいります。



令和元年度開催した広報モニター会議の様子



広報モニターについて

#### ●「議会と語ろう会」の開催・運営

議会の報告や意見交換の場である「議会と語ろう会」ですが、もっと多くの市民の皆さんにご来場いただきたいと、毎年試行錯誤しているところです。昨年度は農業祭との同時開催を初めて試みたものの、台風の影響で残念ながら同時開催は実現できませんでした。さらに、今年度は新型コロナウイルスの影響により、開催さえも断念しなければいけない状況になりました。しかし、どうか市民の皆さんに議会の活動をよりご理解いただきたいと、今年度は初めてのインターネットでの録画配信に試みることになりました。より多くのみなさんや若い世代の皆さんにも、議会の活動を知っていただき、ご参加いただけることを願っています。



令和元年度開催時の様子（佐久創造館）



手話通訳者と要約筆記者を配置（議会棟）